

緒方洪庵と適塾の時代を考える。
第10回 適塾講座

大阪では、女性が様々な分野で活躍し、光彩を放ってきました。今回の適塾講座は、緒方洪庵夫人の八重の書簡が発見されたことにちなみ、活力にあふれた大阪の女性たちをテーマにとりあげます。コーディネーター：橋爪節也（大阪大学総合学術博物館教授）

今回のテーマは、
近世・近代の大阪と女性

第1講座 緒方洪庵夫人・八重の実像―新出の自筆書状から―

松永 和浩（大阪大学適塾記念センター准教授）

9月27日（水）18:30～20:00

適塾を開いた蘭学者・緒方洪庵を献身的に支えた妻の八重は、塾生たちからも実母のように慕われました。その人物像を語るに、「良妻賢母」の一言に尽きるといえます。ところが最近、大阪大学適塾記念センターが発見した八重自筆の書状から、これまでのイメージとは違った八重の側面が浮かび上がってきました。そこで今回は、八重の生涯を振り返るとともに、新発見の自筆書状から八重の素顔に迫ります。

●会場／大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53） ●定員／各50名（申込先着順）
●受講料／4,500円（3回分）※1回1,500円 適塾記念会会員（新規入会者を含む）は、3,000円（3回分）※1回1,000円 ●申込方法／①FAX またはメールで、氏名・フリガナ・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・適塾記念会会員または非会員・受講希望講座名をお知らせください。FAX.06-6850-5015 kinenkai@tekijuku.osaka-u.ac.jp
②確認後、受講決定の連絡をします。③受講決定の連絡後、受講料を指定の銀行口座へお振込みいただけます。（定員に達した時点で締切）
●申込先・問合せ先／適塾記念会事務局 TEL.06-6850-5016

第2講座 跡見花蹊～女性教育に尽力した大阪ゆかりの女性画家

小川知子（大阪新美術館建設準備室研究副主幹）

10月25日（水）18:30～20:00

1875年に東京で跡見女学校（現在の跡見学園）を創設した跡見花蹊は女子教育の著名な先駆者ですが、大阪出身であること、優れた画家や書家として活躍したことなどは地元で十分に知られていません。幼い頃から聡明だった花蹊は寺子屋を営む父に見込まれて漢学や書画を学び、若い頃は中之島の跡見塾でも教えました。今回は、京都をへて東京で志を開花させる花蹊の生涯、そして女性日本画家としての姿をご紹介します。

第3講座 織田作之助文学に描かれた女性―初期作品を中心に―

増田周子（関西大学文学部教授）

11月29日（水）18:30～20:00

織田作之助は、太宰治、坂口安吾らとともに無頼派の文学者仲間の一としてオダサクと愛称され、これまで多くの方に親しまれてきました。織田の文学は、戦時体制下で、当時常識とされていることのできる限りの抵抗をしたデカダン文学であり、かつ大阪らしい庶民的な愛情にあふれています。作品に描かれる女性も、当時としては新しい女性であり、魅力に富んでいます。本講座では、織田の描いた女性をとりあげ、様々な角度から考えていきます。

大阪大学適塾記念センター

平成29年度 大阪大学総合学術博物館 第10回特別展

入館無料

演じる私たち ～戦後20年間西「新劇」の軌跡～

新劇は西欧近代劇の芸術的成果を日本に紹介し、実践した演劇活動および演劇ジャンルの名称です。日本の現代演劇の中心として舞台芸術のみならず映画やその他の文化芸術にも大きな影響を与えてきました。一般的には新劇の劇団という文学座などの東京の大劇団が思い浮かびますが、関西にもさまざまな劇団があり活動を行っていました。特に終戦後の1940年代後半には制作座や青猫座、くるみ座といった小規模ながら個性的な劇団が次々と旗揚げされ、多様な演劇的実践が行われるようになりました。本展覧会では主に終戦後から1960年代ごろまでの関西の新劇に焦点を当て、関西の劇団や劇作家、俳優そして上演された作品に関わる様々な資料を紹介します。市民による観劇団体である「大阪労演」資料（関西学院大学博物館蔵）も多数出品します。観客の側からの視点を取り入れながら新劇を中心とした戦後の関西文化の一端を紹介します

会 期／2017年10月23日（月）～12月22日（金）
日曜日休館（ただし11月3日（祝）、11月5日（日）は開館）
会 場／大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
定 員／70名程度（要事前申込）
主 催／大阪大学総合学術博物館
共 催／関西学院大学博物館、大阪芸術大学舞台芸術学科舞台美術コース研究室、大阪大学大学院文学研究科、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、日本舞台美術家協会 西日本支部
協 力／大阪大学 21世紀懐徳堂
問合せ先／大阪大学総合学術博物館 TEL.06-6850-6284

大阪大学総合学術博物館

デンマーク・日本外交関係樹立150周年記念 社学連携プロジェクト

入場無料

デンマーク社会へのアプローチ ～留学とその方法～

日本とデンマークは2017年に外交樹立150周年を迎えました。この記念の年にあらためて、私たちがデンマーク社会から何を学ぶことができるのかを考えます。めまぐるしく変化する国際社会情勢のなかで独自の取り組みを進めるデン

マーク社会を、「持続可能性」と「イノベーション」というキーワードをもとに読み解きます。また、デンマークについて学ぶ方法の一つとして「留学」を紹介し、その方法について解説します。デンマーク留学の経験者数名による留学体験談もお話しします。

出演者／村上有美（デンマーク王国大使館 上席イノベーション・科学技術担当官）
石黒 暢（大阪大学大学院言語文化研究科 准教授）
大辺理恵（大阪大学外国語学部非常勤講師）
デンマーク留学体験者

●申込方法／WEB 申込フォームもしくは FAXにてお申込みください。FAX でのお申込みの場合、①お名前（ふりがな）、②FAX 番号、③電話番号、④年齢 をご記入の上、タイトルを「デンマーク社会へのアプローチ 申し込み」として下記までお送りください。
・web フォーム
http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2017/denmarkproject1001
・FAX.06-6850-6449（大阪大学 21世紀懐徳堂）



21世紀懐徳堂 デンマーク社会

日 時／2017年10月1日（日）13:00～15:00（開場12:30）

会 場／大阪大学中之島センター 講義室 304

参加費／無料

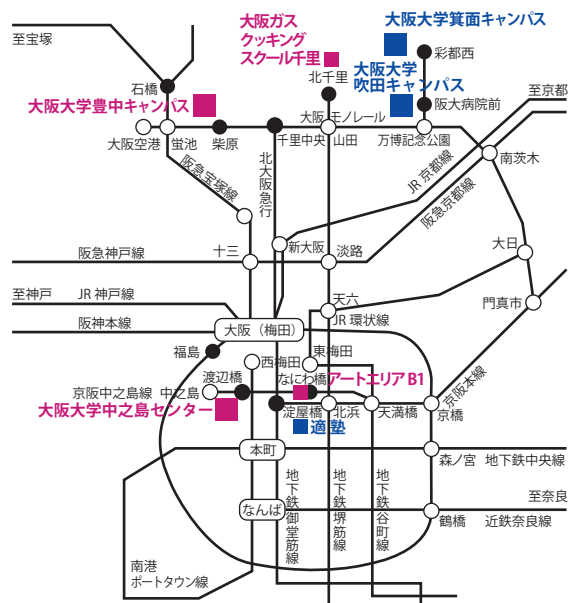
定 員／70名程度（要事前申込）

主 催／大阪大学言語文化研究科・言語社会専攻・デンマーク語部会

共 催／大阪大学 21世紀懐徳堂、一般社団法人 KIO

協 力／デンマーク大使館

問合せ先／大阪大学 21世紀懐徳堂 info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp TEL.06-6850-6443（平日10:00～17:00）



■Handai-Asahi 中之島塾
■適塾講座
会場／大阪大学中之島センター

大阪市北区中之島4-3-53 TEL.06-6444-2100

- 京阪中之島線 中之島駅 徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅 徒歩約9分
- JR 東西線 新福島駅 徒歩約9分
- JR 環状線 福島駅 徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅 徒歩約16分

■ラボカフェ
会場／アートエリアB1（なにわ橋駅内）

- TEL.06-6226-4006
- 京阪中之島線 なにわ橋駅 地下1階コンコース
 - 京阪本線 淀屋橋駅または北浜駅 徒歩約5分
 - 地下鉄 淀屋橋駅または北浜駅 徒歩約5分

■大阪大学総合学術博物館 第10回特別展
会場／大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館（大阪大学豊中キャンパス）

大阪府豊中市待兼山町1-20 TEL.06-6850-6264

- 阪急宝塚線 石橋駅 徒歩約10分
- 大阪モノレール 柴原駅 徒歩約20分

■大阪大学 × 大阪ガス アカデミッククッキング
会場／大阪ガスクッキングスクール千里

豊中市新千里東町1-3-141（せんちゅう PAL 1F 北）

TEL.06-6871-8561

- 北大阪急行 千里中央駅 北端階段を上がる
- 大阪モノレール千里中央駅 徒歩約3分

●すべてのお問い合わせは●

大阪大学社会学創本部 21世紀懐徳堂
TEL.06-6850-6443

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館 1F（豊中キャンパス）

大阪大学 21世紀懐徳堂

http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/

大阪大学
21世紀懐徳堂の
一般公開講座



参加者募集中!

緒方洪庵と適塾の時代を考える

第10回 適塾講座

料理が開く、学問のトビラ。
大阪大学 × 大阪ガス アカデミッククッキング

大阪大学 21世紀懐徳堂だより

【vol.34 / 2017年9月～2018年1月号】



大阪大学
21世紀
懐徳堂



大阪大学 21世紀懐徳堂シンポジウム 第2回
清水則雄 徳田明仁 松永和浩 上田貴洋
広島大学総合博物館 准教授 愛媛大学ミュージアム 准教授 大阪大学適塾記念センター 准教授 大阪大学総合学術博物館 教授



ミュージアムピースを活用した大学の「コトづくり」

2017年10月17日[火] 19:00～21:00（開場18:30）

大阪大学中之島センター 〒530-0043 大阪市北区中之島4-3-53 定員=50名程度 要申込・申込先着順

info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp tel. 06-6850-6443（平日10:00～17:00）

大阪大学 21世紀懐徳堂シンポジウム 第2回

入場無料

大学ミュージアムの未来

—ミュージアムピースを活用した大学の「コトづくり」—

日 時／2017年10月17日（火）19:00～21:00（18:30 開場）
会 場／大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）
定 員／50名程度（要予約・申込先着順）
出 演／清水則雄（広島大学総合博物館 准教授）
徳田明仁（愛媛大学ミュージアム 准教授）
松永和浩（大阪大学適塾記念センター 准教授）
上田貴洋（大阪大学総合学術博物館 教授）

「大学知」の宝庫というべき大学ミュージアムは、大学の歴史や学術資料などの大学のエッセンスが凝縮した魅力的な情報発信基地として、大学の社会貢献の一翼を担っています。大学と地域との共創においても、大学ミュージアムの果たす役割はたいへん大きいといえます。今回は、大学と地域との共創を、大学の「社会との窓口」を標榜している大学ミュージアムの立場から考察します。地域連携について特色ある取り組みをしている3つの大学ミュージアムからゲストを招き、それぞれが取り組む活動を通して見てきた地域社会のニーズや課題について、話題提供します。大学と地域との新しい共創を目指して、今後、大学ミュージアムが挑戦すべき課題について、参加者の皆さまと共に考えたいと思います。

【申込受付中】

◎WEB フォーム

http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2017/symposium_1017

◎FAX 往復はがきの場合は、①お名前（ふりがな）、②FAX 番号、③年齢をご記入の上、タイトルを「21世紀懐徳堂シンポジウム申込み」として下記まで。
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館 大阪大学 21世紀懐徳堂「シンポジウム」係 FAX.06-6850-6449

主 催／大阪大学 21世紀懐徳堂

問合せ先／大阪大学 21世紀懐徳堂 TEL.06-6850-6443

21世紀懐徳堂 大学ミュージアム